

大規模地震災害における 公共建築物の 機能確保の意義

令和6年1月1日発生した能登半島地震においては学校や病院などの公共建築物も被災し、その機能が一時的に使用できない事象が少なからず生じました。官庁施設の被害状況や対応、災害医療対応からみる建築物の耐震性確保の重要性等をご講演いただき、大規模災害時においても必要な機能維持が求められる公共建築物の平時の備え、今後の取り組み方について考察します。

講師 (敬称略)

和田章 (東京工業大学名誉教授／公共建築賞審査委員会委員長)

基調講演「大規模地震災害における公共建築物の機能確保の意義」

大友康裕 (国立病院機構災害医療センター病院長／東京医科歯科大学名誉教授)
「災害医療対応における建築耐震性の重要性」

松尾徹 (国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課長)
「災害に強い官公庁施設づくり」

開催 日時

2024 (令和6) 年 **11** 月 **11** 日 (月)
14:00 ~ 17:00 (13:00 受付開始)

会場

東京証券会館 8階ホール
(東京都中央区日本橋茅場町 1-5-8)

ライブ配信も 実施します

Microsoft Teams ウェビナー
によるライブ配信も実施
します。当協会ウェブサイ
トの専用ページを
ご覧ください

参加費 無料 (事前のお申し込みが必要です。[定員 300 人])

お申し込み方法 当協会ウェブサイト専用ページ (https://www.pbaweb.jp/seminar/events/pbday_honbu_r06-01/) のお申し込みフォームから、または専用ページからお申し込み書をダウンロードし、必要事項をご記入の上、メール (soumu@pba.or.jp) でお送りください。お申し込み締切は11月5日(火)です。

お問い合わせ 公共建築協会 総務部講演会担当 TEL: 03-3523-0381



専用ページ
アクセス用
QR コード



● 公共建築月間・公共建築の日について

行政や教育文化、福祉などさまざまな分野にかかわる各種の公共建築は、地域の人々の生活に密接な関わりを持ち、地域の活性化や生活・文化水準の向上、街並み・景観の形成などを図る上で重要な役割を果たしています。また、近年、地域との連携を図りながら、公共建築の整備や運用のあり

方を考えるべきという気運が高まっていたという状況を踏まえ、「公共建築の日」および「公共建築月間」が創設されました。関係団体や地方公共団体、関係省庁などが幅広く協力しつつ、また広く一般の方々にも関心を持っていただきながら、より一層、国民生活に密着したよりよい公共建築を目指していきたいと考えています。



令和6年度 公共建築の日 記念講演会 参加申込書 (メールまたはFAX用)

一般社団法人 公共建築協会 総務部講演会担当あて

申込者 (参加者) 氏名	フリガナ	電話番号	
		FAX 番号	
勤務／ 所属先		所属部署・ 役職等	
メール アドレス			
勤務／ 所属先住所	〒		

※ 合計5名様までお申し込みいただけます。

(上記以外の) 参加者氏名	(上記以外の) 参加者氏名
フリガナ	フリガナ
フリガナ	フリガナ

注意事項 ● 受講票は発行しませんので、当日、直接会場にお越しください。

E-mail: soumu@pba.or.jp
または
FAX: 03-3523-1826

お問い合わせ

一般社団法人 公共建築協会 総務部講演会担当
〒104-0033 東京都中央区新川 1-24-8
TEL: 03-3523-0381